

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

平成28年3月23日 第2,363回 No. 2,124号

会長：夏目 潔 ・ 幹事：佐藤 忠幸 ・ 会員サービス委員長：柳澤 幸一

E-mail：neast-rc@valley.ne.jp

URL：http://www.valley.ne.jp/~neast-rc/

《ビジター紹介》

- みゆき野飯山ロータリークラブ
藤田 恭一君

《ロータリーソング》

- 奉仕の理想

《会 長 報 告》

- みなさん、こんにちは。昨年春には善光寺の御開帳が執行され、全国から707万人という大変多くの参拝客をお迎えしましたが、もしかすれば、その善光寺さんがなくなっていたかもしれない危機がありました。それは明治維新の時代の神仏分離、廃仏稀釈でありました。今の戸隠も元々は山岳密教の霊験所で高野山や比叡山に匹敵する一大霊場であり、徳川家康の庇護のもと天台宗の密教的行事を執り行っていたそうですが、明治維新の時に神社に変わりました。善光寺も年神堂を祀り、堂童子が神事的行事を行っている事からしても神道に改め善光神社として、山内の僧侶は神官に、尼公は還俗されるようにとの通達が出されました。善光寺とは深い因縁のある戸隠山が既に神道に改宗したことを身近にみていたため、山内の僧侶は大いに動揺しました。時の善光寺大本願の住職は伏見宮家より入られた第百十七世誓円上人でした。この方は他にも多くの功績を残されましたが、特に善光寺の存続を守り中興開山と称されています。

山内僧侶は協議を重ねましたが、誓円上人は一貫して断固拒絶され、しかも、以前お話したように、徳川中期以降長らく天台宗に服し大勧進配下になっていた十四坊に対し、昔ながらの本坊と一山の関係をとき一致団結して、大勧進配下から転換し、復興させようと訴え、種々の交渉を経て、明治九年に十四坊の浄土宗復帰が実現し、長野県庁からは善光寺の寺

務を両寺対等に内掌すべき旨の指令を受け大本願の存在を確立されました。

なお、さかのぼる明治7年に皇族の僧籍にあるを禁ずる政令が発せられた時には、「身にまとった袈裟はとり得ようが心に着けた袈裟は取る方法がない、剃刀をもって剃った黒髪は伸ばすことが出来ようが、心に剃った黒髪はどうして伸ばすことが出来よう」と言われ、如何なる迫害をうけようともこの度の仰せには従えないとの気持ちを貫かれ、皇族の尼僧が許されないならと、久我家に入籍し、皇族の身分を捨てても所信を貫き善光寺と大本願を守りぬかれました。故に現在、長野市の象徴のような善光寺も存続の危機があったのです。もしこの時、神社に変わっていたなら、御開帳も存続していない訳ですから、昨年のような全国から700万人を超えるような人々も訪れなかったでしょうし、毎年多くの参拝客も訪れないでしょうし、長野市の様相は一変していたことでしょう。考えるだけでぞっとします。善光寺を守ってくださった誓円上人様に改めて感謝する次第です。

《委 嘱 状 授 与》

- 地区諮問委員会 委員
ロータリー財団監査委員会 副委員長
土屋 磯司君
- 社会奉仕委員会
委員長 田中 清一君
- 米山奨学委員会
委員 中澤 勝君
- 青少年奉仕委員会
インターアクト委員会
副委員長 佐藤 忠幸君
- 青少年奉仕委員会
ローターアクト委員会
委員 原田 政和君

- ロータリー財団委員会
財団資金管理会計小委員会
委員長 永井 真介君
- 青少年奉仕委員会
委員 横田 一尊君
- 国際奉仕委員会
青少年交換委員会
委員 土屋 龍一郎君

《幹事報告》

- 次週 30 日の例会は理事会の決定により休会となりますので、お間違いのないよう、よろしく願いいたします。

《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数 59名	26名	33名	44.06%
前々回 3月9日		訂正出席率	67.30%

《ニコニコボックス》

早退：篠田 諭君、和田 晶宜君
山田 康裕君
欠席当日連絡：山田 康裕君、加藤 秀俊君

- 会員卓話デビューです。よろしくお願いいたします。 愛甲 宏明君
- 人生初めていわゆる「ギックリ腰」で入院いたしました。今更ながら病院内スタッフのありがたさが身にしみました。
山田 康裕君
- お世話になりました。本日が最後の例会出席になります。長野東ロータリークラブの50周年に向けた今後益々の盛り上がりを祈念いたします。 八木 公彦君

《退会挨拶》

- 八木 公彦君
八木でございます。4年間お世話になりました。大変充実した時間を過ごさせていただきました。ロータリーの例会では上越火力発電所や浜岡原発、先月は富山特別例会と普通では経験できないようなことも沢山経験させていただきました。また、普通ではお目にかかれなような方々にもお会いでき、仲良くしていただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
私は自称「長野ファン」ですので、Facebookで1000人を超えた友達に、毎週のように長野のいいところを宣伝しております。まず県民性がすばらしいです。また自然もすばらしく、食べ物もおいしい。初めは冬の寒さが苦痛でしたが、2年目の冬からスキーを始め、寒さも好きになりました。春夏秋はゴルフと登山、冬はスキーと楽しませて

いただきました。特に宮澤さんにはスキー初心者の私をご指導くださいまして、何とか人並みに滑れるようになりました。野沢温泉にはスキー同好会で3回宿泊いたしました。

仕事におきましても、先程県民性がすばらしいと話しましたが、長野の方々はとても安全運転です。みなさんは当たり前と思っているかもしれませんが、こういう県はあまりございません。

お陰様で損害率は長野県は40%です。全国でも有数の低い損害率となっております。これから行く大阪は損害率が70%ですが、頑張っていきたいと思っています。

公私ともにお世話になり、大変充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

最後になりますが、長野東ロータリークラブの50周年式典の成功をお祈りし、また、会員皆様のご健康とそれぞれの事業のご発展をお祈りしまして、私のお礼のご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

《本日のプログラム》

- 会員卓話
愛甲 宏明君
「ROAD to NAGANO
とワトソンプロジェクト」



《4月6日のプログラム》

- クラブフォーラム

《4月6日のメニュー》

- 和定食
 - ・サワラのたたき 信州サーモンの造り
 - ・油カレイ煮付け 季節の野菜
 - ・鶏カツ
 - ・桜ご飯
 - ・味噌汁 香の物
 - ・抹茶わらび餅と果物

= 次週例会予告 =

《4月13日のプログラム》

- 観桜会